

各市町村が認知症の本人の暮らしの流れを支える地域支援体制を効果的に築くための都道府県としての役割と実際

平成26年7月22日

平成26年度第1回

認知症地域支援体制推進全国合同セミナー

認知症介護研究・研修東京センター

京都府が 市町村とともにとりくむ 認知症地域支援体制構築

京都府健康福祉部高齢者支援課 副課長 大倉和子
(京都地域包括ケア推進機構事務局)

京都府は、
地域包括ケア推進の組織体制を整えながら、
その一環として認知症地域支援体制構築を実現するための
継続的な取組みを推進しています。



認知症になっても
住み慣れた地域で暮らし続けるために
オール京都体制で地域包括ケアの推進



京都府の概要



- ◇ 人口 約260万人
(京都市約150万人)
- ◇ 高齢者人口 約60万人
(高齢化率 24%)
- ◇ 2次医療圏 6
- ◇ 市町村数 26(政令市1)
- ◇ 地域包括支援センター数 110

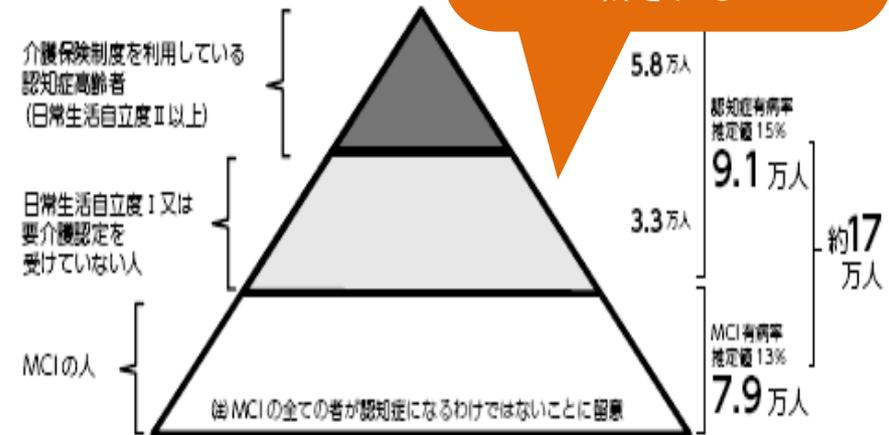
府内認知症高齢者の状況

■京都府における高齢化の予測(人口問題研究所平成26年4月推計)

| | 平成22年 2010年 | 平成37年 2025年 | 伸び率 |
|-------------|----------------|----------------|--------|
| 高齢者数(人) | 616,952 | 769,725 | 1.2倍の増 |
| 高齢化率(%) | 23.4 | 30.8 | — |
| 高齢夫婦世帯数(世帯) | 121,172 | 142,104 | 1.2倍の増 |
| 高齢単身世帯数(世帯) | 120,128 | 169,713 | 1.4倍の増 |

■京都府における認知症高齢者の推計値(厚生労働省推計)

| 将来推計(年) | 平成22年 2010年 | 平成37年 2025年 |
|---------------------|----------------|----------------|
| 日常生活自立度Ⅱ以上の認知症高齢者人数 | 5.8万人 | 9.9万人 |
| 65歳以上人口に対する比率 | 9.5% | 12.8% |



※MCI:軽度認知障害。記憶障害はあっても、認知症とは言えない状態、認知症の予備軍、または、前駆状態といわれる
 ※厚生労働省研究班の推計「都市部における認知症有病率と認知症生活機能障害への対応」(H25.5)を引用

これまでの経緯

2000
(H12)

府保健所
保健師として

介護保険前夜
の認知症介護を
地域で支える

2007
(H19)

国の認知症
地域支援体制
構築事業開始

府は予算確保
できず。

実施市町村なし

東京センターの
セミナーに
一人で参加...

2008
(H20)

ようやく
3市町村が実施

市町村に説明
「できることから
始めよう」

京丹後市で
徘徊模擬訓練
⇒毎年継続
⇒ネットワーク

2011
(H23)

京都地域包括
推進機構設立

府内26市町村
地域包括支援
センターへ
ヒアリング

★市町村の声に
耳を傾ける
★オール京都の
取組みへ

2014
(H26)

現在、進行形！

* 47都道府県の中で遅れてスタート



京都地域包括ケア 推進機構のとりくみ



京都地域包括ケア推進機構

関係団体が一丸となった**オール京都体制**で

・医療・介護・福祉の各団体に大学、弁護士会など39団体で構成。

京都地域包括ケア推進機構の取組

事業プロジェクトの推進！

「京都地域包括ケア推進機構」のねらい

高齢の方が介護や療養が必要になっても、地域に関わりを持ちながら、自分の意思で生活の場を選択できるような環境整備を進め、個人の尊厳が尊重される社会を実現し、住み慣れた地域で24時間、365日安心して暮らしていける社会を築くために、医療、介護、福祉のサービスを切れ目なく一体的に提供する地域包括ケアを実現

（京都地域包括ケア推進機構設立趣意書より）

府として、目的を現実に達成していくことを強力に推進するための組織体制をつくる

京都地域包括ケア推進機構

代表幹事

..... 代表幹事:4名

- 京都府知事 山田 啓二
- 京都市長 門川 大作
- 社会福祉法人 京都府社会福祉協議会会長 柏原 康夫
- 社団法人 京都府医師会会長 森 洋一

理事会

..... 理事長:1名 京都府特別参与 井端泰彦
理事:13名

事務局

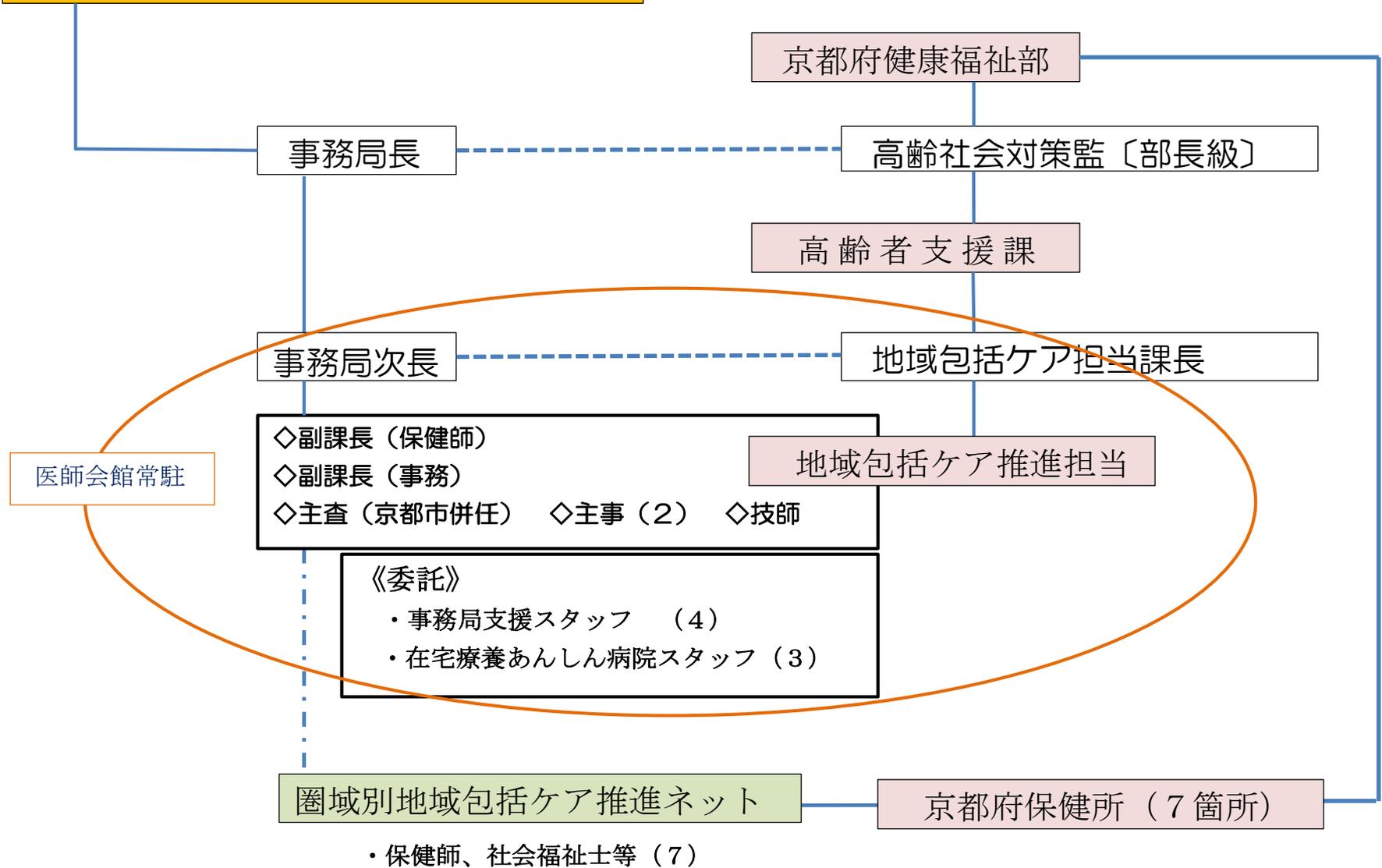
京都府健康福祉部高齢者支援課

構成団体

..... 構成団体:39団体

- 京都府立医科大学・社団法人 京都府医師会・公益社団法人 京都府栄養士会・社団法人 京都府介護支援専門員会
- 一般社団法人 京都府介護福祉士会・社団法人 京都府看護協会・京都大学・京都府行政書士会
- 京都府言語聴覚士会・京都府後期高齢者医療広域連合・京都府国民健康保険団体連合会・京都府作業療法士会
- 社団法人 京都府歯科医師会・社団法人 京都府歯科衛生士会・京都府市長会・京都司法書士会
- 社会福祉法人 京都府社会福祉協議会・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会・社団法人 京都社会福祉士会
- 社団法人 京都私立病院協会・社団法人 京都精神病院協会・京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会
- 京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会・京都府町村会・京都府病院協会
- 京都府立大学・京都弁護士会・京都府訪問看護ステーション協議会・京都府民生児童委員協議会
- 京都市民生児童委員連盟・社団法人 京都府薬剤師会・一般社団法人 京都府理学療法士会・京都療養病床協会
- 京都府リハビリテーション連絡協議会・一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会
- 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会・京都府老人保健施設協会
- 京都府・京都市

京都地域包括ケア推進機構 事務局



◆心がけていること

チームで動く

行政
事務職＋専門職

関係団体等

顔の見える関係づくり
(足を運ぶ)

地域包括支援センターの体制を強化します

市町村/圏域

一人ひとりのニーズに合ったサービス体制をつくります。

家族

高齢者



相談

地域包括支援センター

医療

行政

連携してチームケアで対応

介護

福祉

オール京都体制で支えます(京都地域包括ケア推進機構)

京都地域包括ケア 推進機構プロジェクト

京都式地域包括ケアの 7 プロジェクト

京都地域包括ケア推進機構

【在宅療養あんしんプロジェクト】

- 在宅療養あんしん病院登録システムの推進
- ・多職種による在宅療養チームの拡大
- ・在宅療養に係る府民啓発の促進

【認知症総合対策推進プロジェクト】

医療・ケア連携部会

初期対応・地域部会

- 認知症総合対策計画の策定
- ・認知症の早期発見や専門的な診断の充実
- ・初期認知症の方や家族への集中的な支援
- ・認知症疾患医療センター整備と地域連携

【地域におけるリハビリ支援プロジェクト】

リハビリテーション部会

- 地域リハビリテーションの推進
- ・リハビリテーション医等の養成
- ・先端的リハビリ治療の研究・普及促進

【看取り対策プロジェクト】

看取り部会

- 看取りプランの策定
- ・在宅看取り連携推進事業の実施
- ・在宅療養・看取りに関する府民啓発の推進

【北部地域医療・介護連携プロジェクト】

- 府立医大附属北部医療センターの設置に伴う地域医療展開との協働

【介護予防プログラム構築プロジェクト】

- 亀岡市、府立医大との連携した全国最大規模の介護予防の検証事業

【地域で支える生活支援プロジェクト】

- 企業が高齢者を見守る「京都高齢者あんしんサポート企業」の展開

地域包括ケア 3大プロジェクト

①認知症総合対策推進プロジェクト

- ・疾患医療センターを全医療圏に設置
- ・初期集中支援チームの配置
- ・初期認知症対応型カフェの実施促進

医療・ケア連携部会
初期対応・地域部会

②総合リハビリテーション推進プロジェクト

- ・地域リハビリテーションの推進
- ・リハビリテーション医等の養成
- ・先端的リハビリ治療の研究開発・普及促進

㊤リハビリテーション部会設置

③看取り対策プロジェクト

- ・看取りの大規模な実態調査の実施
- ・看取り対策プランの策定
- ・看取りに係る府民講座など府民啓発の推進

㊤看取り部会設置

推進
機構

地域
展開

地域包括ケア推進ネット・地域リハセンを中心に、市町村等と地域展開を推進

市町村や職能団体の取組みを支援するために

(平成23～26年度当初予算) **12.8億円**

(平成26年当初予算)
地域包括ケア総合交付金 **2.85億円**

市町村

地域や団体の
特性を活かした
高齢者施策

職能団体

<主な事業>

認知症施策、介護予防事業
多職種連携の推進事業
暮らしのサポートコーディネーター等

地域包括ケアを独自に推進する
施策の提案を評価して採択

がんばる市町村・団体を応援します！

市町村総合交付金(2.5億円)

◆認知症重点枠(オレンジプラン推進枠)
の確保 (8000万円)



認知症初期集中支援チーム
認知症ケアパス
初期認知症対応型カフェ
徘徊模擬訓練等

政策誘導

職能団体交付金(3, 500万円)

◆重点プロジェクト枠の確保

◆市町村・地域包括支援センターとの連携、団体間連携を指導



政策誘導

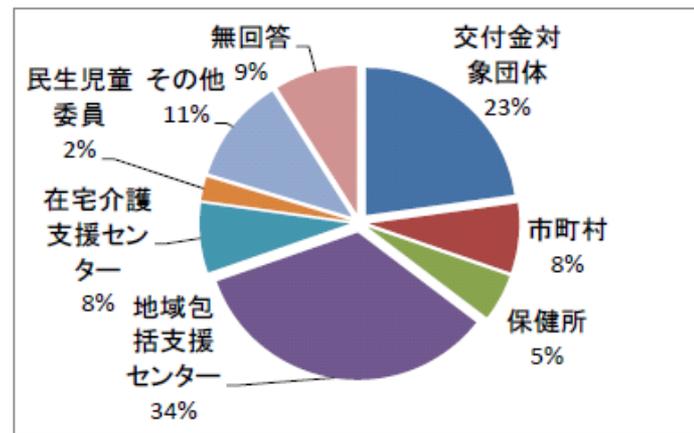
地域包括ケア総合交付金

成果発表会の開催

交付金事業について、取組内容を広く情報共有するとともに関係団体と市町村の情報共有・交流促進を行い、地域や分野を超えた具体的なコラボレーションが生まれるきっかけづくりの場



<参加者の所属>



認知症総合対策推進 プロジェクトについて

認知症総合対策推進プロジェクト

1 認知症疾患医療センターの設置

認知症の専門医や相談員を配置し、認知症疾患における鑑別診断・相談体制や地域の医療ネットワークにより途切れないケア体制を構築

府内8か所

2次医療圏域に
1箇所以上

2 京都式オレンジプランの推進

認知症初期から支援する初期集中支援チームや初期対応型カフェの設置

- ・認知症初期対応カフェの設置 (25 15市町村 → 26 19市町村)
- ・初期集中支援チームの設置を促進(25 4市町村 → 26 5市町村)



3 認知症啓発の強化

認知症キャラバンメイト、サポーター等による啓発部隊を創設し、啓発活動を展開

「オレンジロード
つなげ隊」を創設

4 多様な相談窓口の設置や見守り人材の養成

- ・京都府認知症コールセンター
- ・きょうと認知症あんしんナビの開設
- ・京都高齢者あんしんサポート企業の養成

【ステッカー】

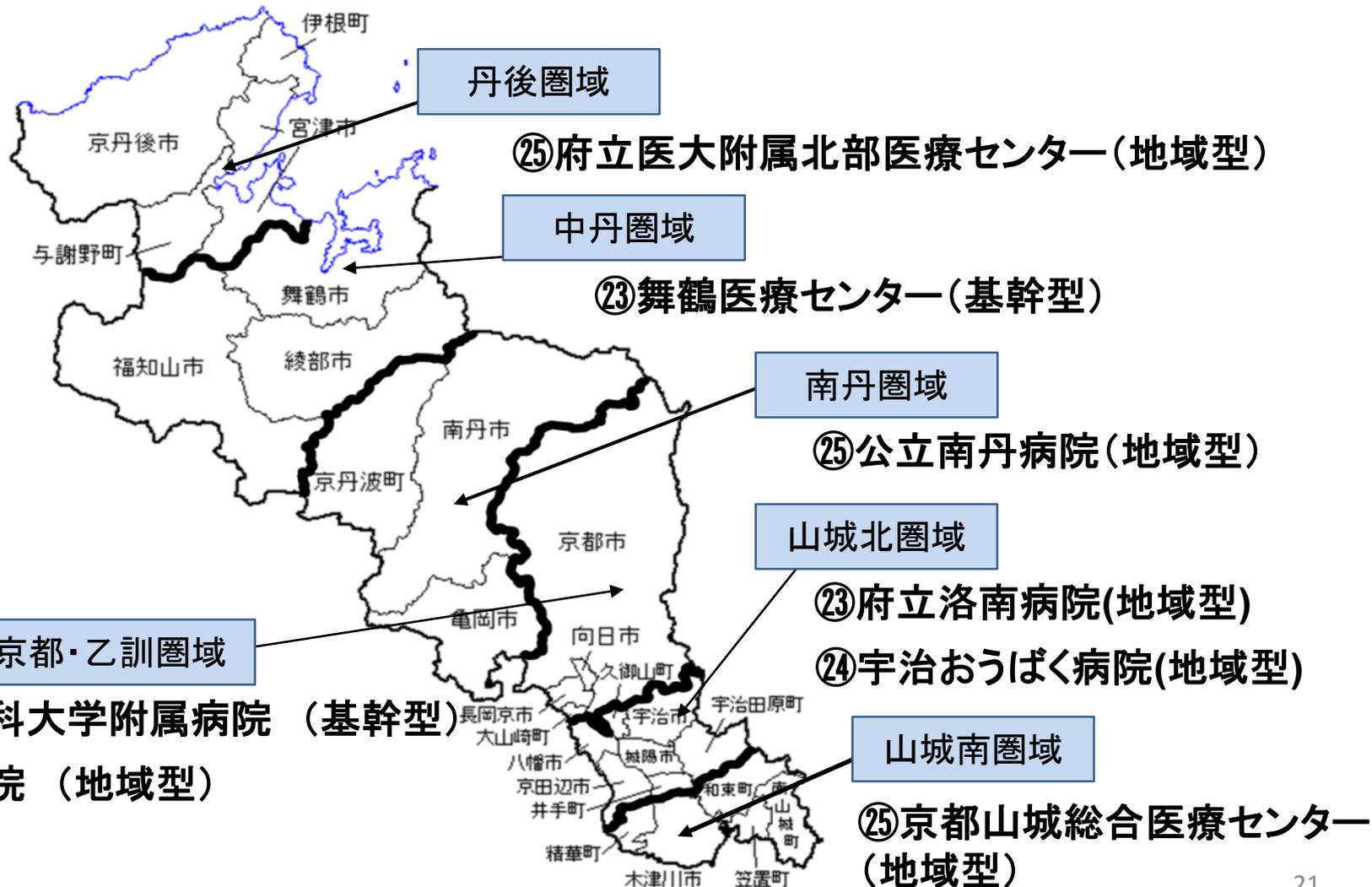


5 京都認知症総合センターの整備検討

認知症疾患医療センター指定について

【京都府のセンター整備の考え方】

- ①各医療圏域に1カ所以上の配置
- ②高齢者人口により、複数配置(概ね6万人程度に1カ所)



認知症になっても安心して暮らせる町づくり

早期診断・対応力の向上

認知症サポート医

～H25 47人

かかりつけ医

～H25 1,028人

地域で支える人材の育成

キャラバンメイト

～H25 3,912人

認知症サポーター

～H25 112,240人

介護従事者の技術向上

認知症実践者研修

～H25 2,586人

認知症実践リーダー研修

～H25 477人

医療現場

地域・職域

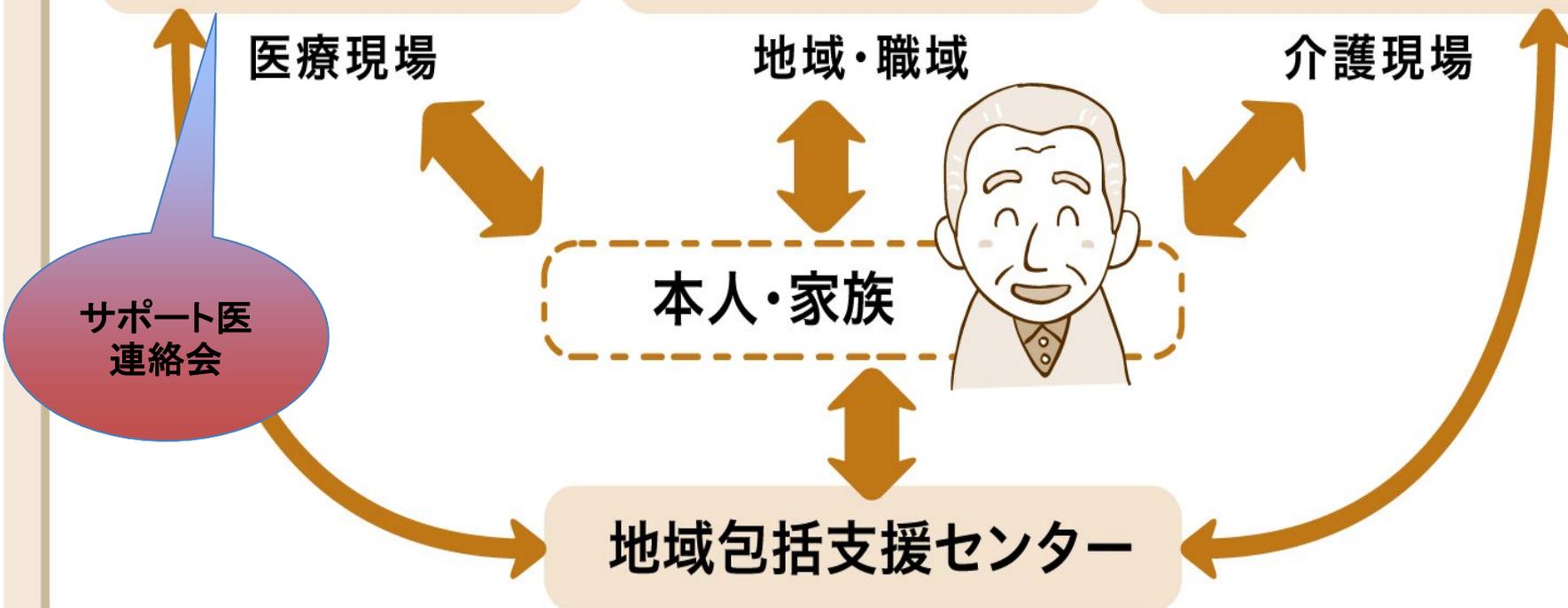
介護現場

サポート医
連絡会

本人・家族

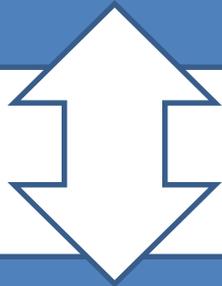


地域包括支援センター



認知症サポート医連絡会

認知症サポート医
(47名)



地区医師会担当
理事
(24名)

地域包括支援センター代表
京都市・京都府内市町村

事務局: 京都地域包括ケア推進機構

京都府・京都市・
府医師会事務局

幹事: サポート医代表3名

出会いのポイントを どこまで前倒しに できるのか（入り口問題）



- 正しい理解
- 早期発見・早期鑑別診断・早期対応
- とぎれない医療・介護の体制

※24年6月～検討開始

認知症施策を巡る国の動向

- 平成24年6月18日

「今後の認知症施策の方向性について」

厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチーム

- 平成24年9月5日

「認知症施策推進5カ年計画」

(オレンジプラン)

認知症総合対策推進プロジェクト(京都式オレンジプランの策定)

実施委員会委員長
副委員長
全体会委員

井端理事長(京都地域包括ケア推進機構)
關 理事(一般社団法人 京都府医師会)
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会
京都府市長会
京都府町村会

計32団体
(京都府・京都市含)

ビジョン・方針の
共有を丁寧に
* 足繁く通って
合意形成...

● 医療・ケア連携部会

計19団体
(京都府・京都市含)

- ・一般社団法人 京都府医師会
- ・一般社団法人 京都私立病院協会
- ・一般社団法人 京都精神病院協会
- ・一般社団法人 西京医師会
- ・一般社団法人 福知山医師会
- ・認知症疾患医療センター(府立医科大学附属病院)
- ・認知症サポート医(北山病院 澤田親男)
- ・一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会
- ・社団法人 京都府介護支援専門員会
- ・一般社団法人 京都府介護福祉士会
- ・一般社団法人 京都府介護老人保健施設協会
- ・公益社団法人 京都府看護協会
- ・一般社団法人 京都府歯科医師会
- ・京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会
- ・一般社団法人 京都府理学療法士会
- ・一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会
- ・公益社団法人 認知症の人と家族の会京都府支部

- ・かかりつけ医、看護師等対応力向上
- ・医療介護連携人材養成
- ・合併症、BPSDの対応
- ・病病、病診、医療介護連携促進

連携



情報共有

● 初期対応・地域部会

計15団体
(京都府・京都市含)

- ・一般社団法人 京都府医師会
- ・京都精神科医会
- ・一般社団法人 乙訓医師会
- ・認知症疾患医療センター(府立洛南病院)
- ・認知症サポート医(京都大学医学部附属病院武地一)
- ・社団法人 京都府介護支援専門員会
- ・京都府作業療法士会
- ・一般社団法人 京都社会福祉士会
- ・京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会
- ・京都地域密着型サービス事業所協議会
- ・京都府訪問看護ステーション協議会
- ・一般社団法人 京都府薬剤師会
- ・公益社団法人 認知症の人と家族の会京都府支部

- ・初期集中支援機能具体化
- ・若年性支援マニュアル作成
- ・認知症ケアパス
- ・権利擁護、在宅療養支援

京都式 オレンジプラン

京都認知症総合対策推進計画



認知症総合対策推進プロジェクト
京都地域包括ケア推進機構

25
回のプロジェクト会議
を重ねて策定

※京都地域包括ケア推進機構ホームページよりダウンロードできます

平成25年9月作成

国オレンジプランと京都式オレンジプラン（比較表）

京都式 オレンジプラン 特徴

1. 国の施策を活かしつつ、京都府の地域実情に即したプランとして策定
2. 府、市町村だけでなく、あらゆる関係団体や府民が行動すべき取組を明示
3. 予防・初期～ターミナル期までの広範・多岐に渡る認知症の課題全体を網羅
4. 達成目標として認知症当事者からの『10のアイメッセージ』を導入

| | 国オレンジプラン | 京都式オレンジプラン |
|--------|---|---|
| 検討メンバー | 厚生労働省関係部局から構成 | 医療・介護・福祉・当事者団体等31団体から構成 |
| 実施主体 | 都道府県・市町村 | 府・市町村・当事者団体等(医療・介護・福祉)・府民 |
| 実施項目 | <p style="text-align: right;">〈事業数〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 標準的な認知症ケアパスの作成・普及 1 2. 早期診断・早期対応 5 3. 地域での生活を支える医療サービスの構築 3 4. 地域での生活を支える介護サービスの構築 1 5. 地域での日常生活・家族支援の強化 4 6. 若年性認知症施策の強化 2 7. 医療・介護サービスを担う人材の育成 4 <p style="text-align: right;">計20</p> | <p>【共通施策】</p> <p>医療と介護が一体となった支援体制の構築 (京都式認知症ケアパスの作成・普及・定着) 6</p> <p>【個別施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり 17 2. 〈早期発見・早期鑑別診断・早期対応〉ができる体制づくり 9 3. とぎれない医療体制づくり 7 4. とぎれない介護サービス体制づくり 14 5. 地域での日常生活・家族支援の強化 5 6. 認知症ターミナルケアにおける対策 2 7. 医療資源の地域格差是正 2 8. 若年性認知症への対策 6 <p style="text-align: right;">計68 【再掲】除く</p> |
| | プラン評価 | _____ |

平成25年9月

京都式オレンジプランの策定

～京都認知症総合対策推進計画～

- すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり
- 早期発見・早期鑑別診断・早期対応
- とぎれない医療体制づくり
- とぎれない介護サービス体制づくり
- 地域での日常生活・家族支援の強化
- 認知症ターミナルケアにおける対策
- 医療資源の地域格差是正
- 若年性認知症対策

- 認知症ナビ（ポータルサイト）の開設
- 若年性認知症ガイドブックの作成

認知症の人とその家族が望む

10のアイメッセージ

京都式オレンジプラン

かなえるオレンジロード

2 私は、症状が軽いうちに診断を受け、この病気を理解し、適切な支援を受けて、将来について考え決めることができ、心安らかにすごしている。

3 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時を除いて住み慣れた場所で終始切れ目のない医療と介護を受けて、すこやかにすごしている。

1 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

4 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

10 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもってすごしている。

8 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心できる居場所をもってすごしている。

9 私は、若年性の認知症であっても、私に合ったサービスがあるので、意欲をもって参加し、すごしている。

7 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている。

6 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がされているので、気兼ねせずにすごしている。

5 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんですごしている。

京都認知症総合対策推進計画 京都式オレンジプラン

【プラン策定の趣旨】

京都認知症総合対策推進計画（京都式オレンジプラン）は、医療・介護・福祉等関係機関が連携し、認知症の早期発見・早期対応、認知症ケアの充実や家族（介護者）への支援など、関係機関・団体等の役割の明確化を図るとともに、府民、関係団体、行政、事業所それぞれの行動指針（計画）として作成する。

【目指すべき姿】

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会（認知症になっても安心して暮らせる京都を目指して）

【計画期間】

平成25年度～平成29年度

【プラン構成】

京都式オレンジプラン

認知症対策
の方向性

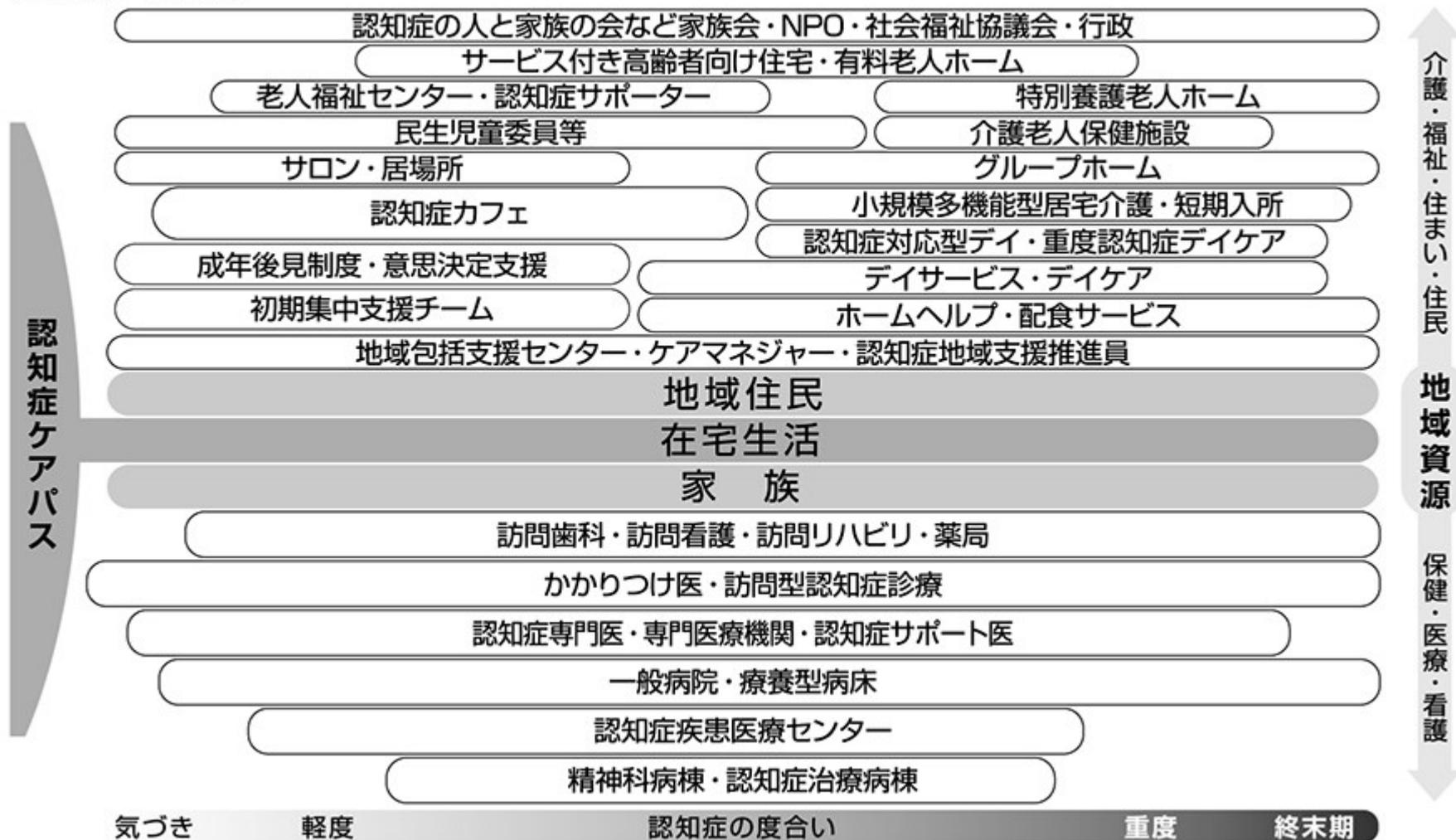
とぎれない医療・介護のために、
「8つの課題」と「課題に対する目
標と手段の方向性」を提起

京都
オレンジ
指標

認知症対策の方向性で示した「目標」
に対し、京都で取り組むべき具体的
施策を提起

京都式認知症ケアパス(案)

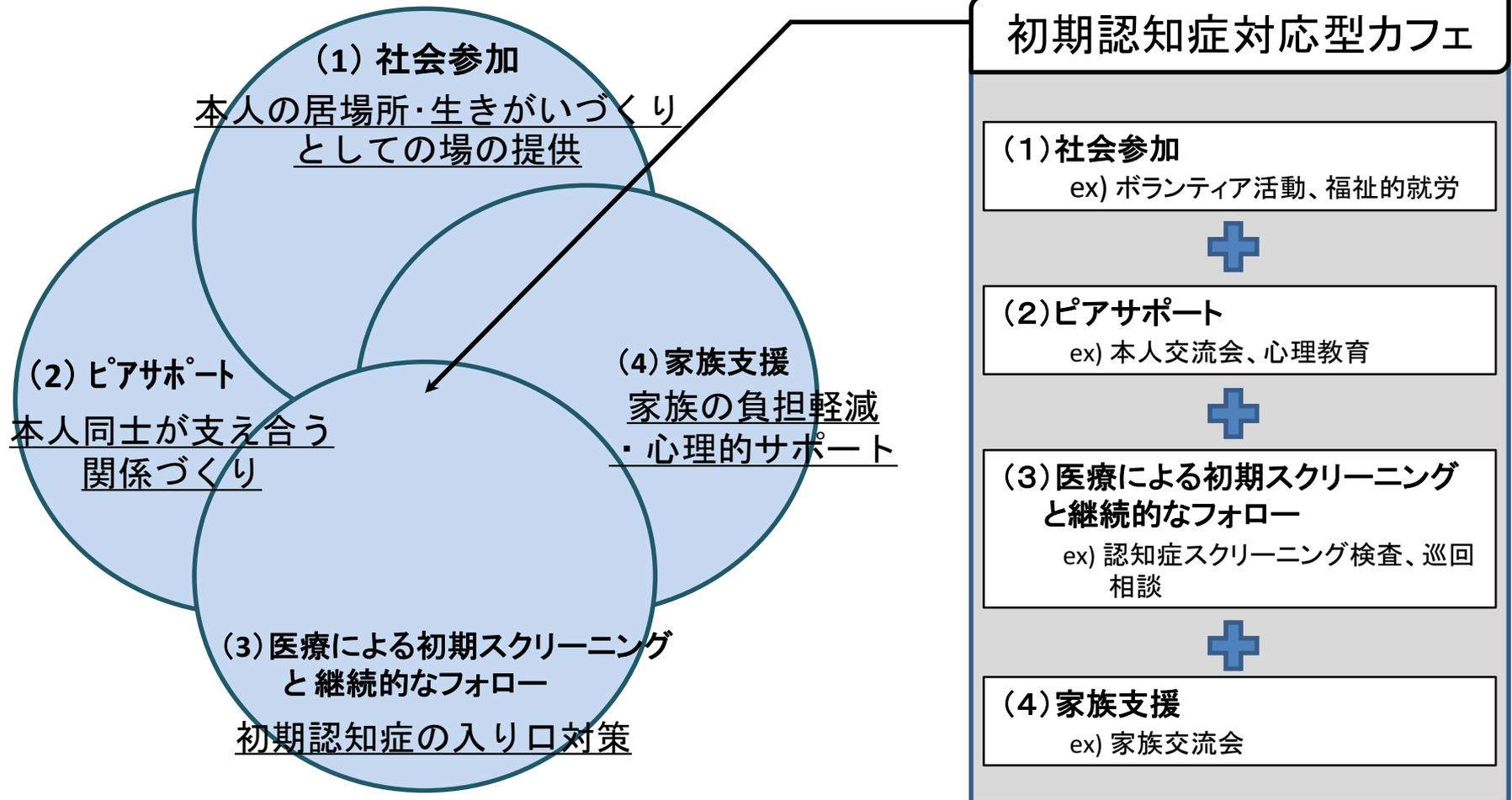
〈概念図(案)〉



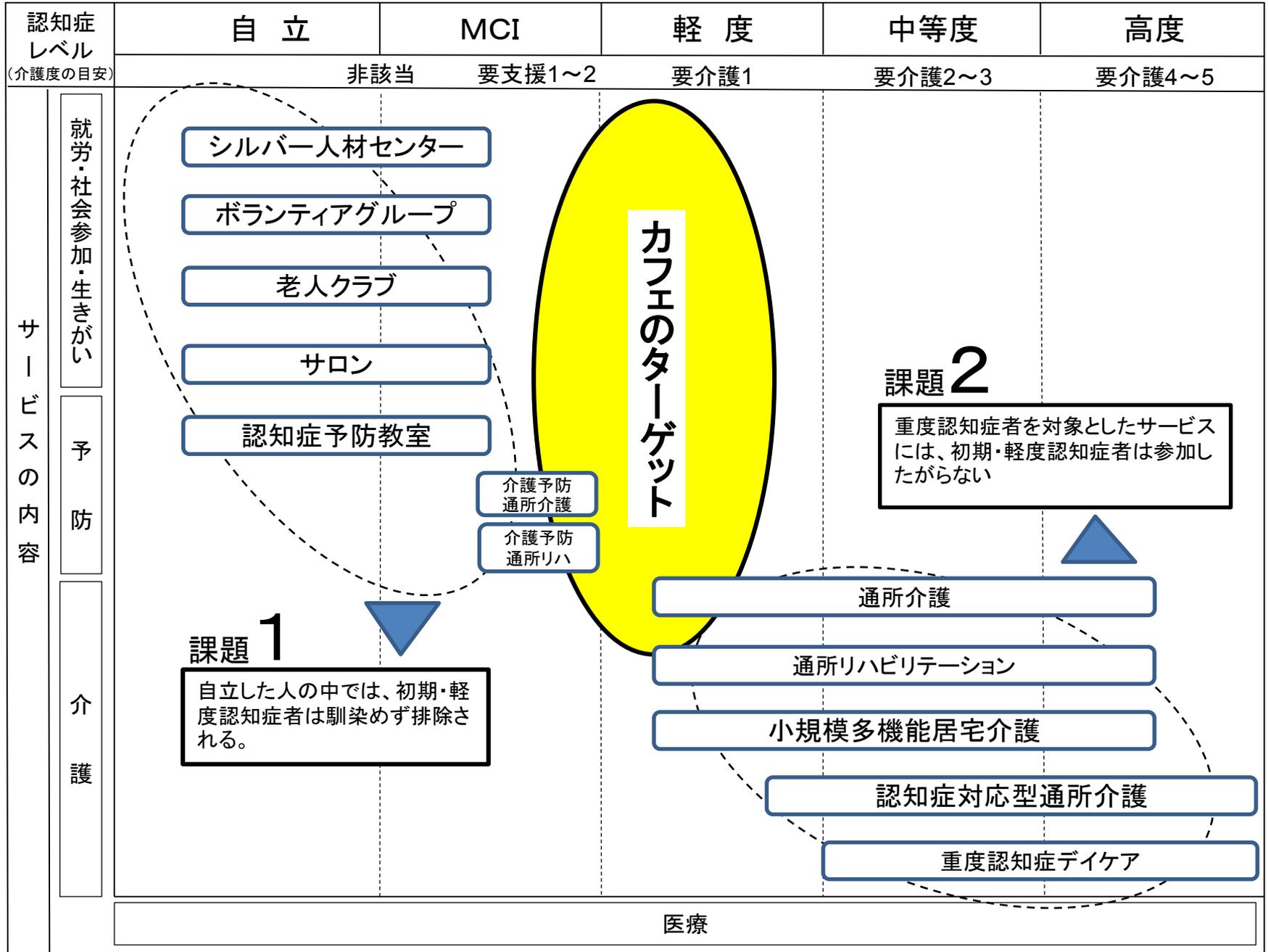
初期認知症 対応型カフェ

初期認知症対応型カフェ ～目指す4つの機能～

～地域特性に応じて選択的に機能を組み合わせる～



初期認知症対応型カフェのターゲット層(案)



平成24年度当初に話し合った 乙訓モデル進め方イメージ

乙訓医師会

【誘導・周知】

(具体策)

医師会員への周知・広報

外来診療等の場面で、必要に応じて、カフェ事業の紹介

【医療のフィルター】

(具体策)

対象者に対するスクリーニング等医療的な関与

カフェへの医療的アドバイス

【効果・検証】

(具体策)

モデル結果の効果・検証事業への協力

検証結果のイベント(研修会・シンポジウム等)での広報

乙訓カフェモデル事業

<実施主体> 長岡京市 / 向日市 / 大山崎町

連携

- ・10月～12月 仕組検討 / プレモデル実施
- ・1月～3月 グランドオープン / 広報実施

<関連事業>
個別訪問
広域徘徊対応模擬訓練等

地域包括ケア推進交流会世話人会

目的: 既存会議の中で時間をいただき、乙訓カフェモデル事業に関する報告及び承認

頻度: 3ヶ月に1回

参加者: 乙訓医師会、市町
地域包括支援センター、機構(乙訓ランチ)

事務局: 二市一町の持ち回り

(1) カフェ連絡会

目的: コアメンバーによる企画、全体の進捗管理等

頻度: 1ヶ月に1回

参加者: 乙訓医師会、市町、機構(乙訓ランチ)

事務局: 京都地域包括ケア推進機構

(2) 市町(実務者)部会

目的: 実務者による運営上の課題検討・情報交換

頻度: 適宜

参加者: 乙訓医師会、市町
地域包括支援センター、カフェ事業所
機構(乙訓ランチ)

事務局: 二市一町

※カフェ連絡会での議論の中で、開催方法、頻度、参加者等を検討。

※地区医師会員への配布資料として作成した「患者への紹介用パンフレット」

乙訓の認知症カフェ

(認知症初期対応型カフェ)



もの忘れが心配な方・・・
家に閉じこもりがちな方へ・・・
楽しい出会いの場に来てみませんか？



平成26年4月

乙訓カフェ連絡会

丹後圏域における初期認知症対応型カフェ の立ち上げ支援(機構丹後ブランチ)

- 管内市町地域包括ケア担当者への情報提供
- H24年度スタートのカフェの見学
- 認知症カフェ立ち上げに係る検討(丹後カフェ連絡会)

- ・カフェの目指す機能の確認
- ・ターゲットとすべき対象者
- ・対象者のアセスメント、評価方法
- ・関係機関との連携
- ・地域包括支援センターの役割等・・

丹後の認知症カフェマップ

丹後の 認知症カフェ一覧



平成25年12月

丹後の 認知症カフェマップ



作成 平成25年12月
発行 京都府丹後保健所
京都地域包括ケア推進機構 北部プランチ
管内地域包括支援センター
(宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町)

| | |
|-----|-----------------------------|
| 名称 | コミュニティカフェ ともに 1 |
| 場所 | 京丹後市久美浜町栢谷2375 久美浜町くまのの里 |
| 申込先 | 電話：82-1108 岡下、香川 |
| 開催日 | 毎週1回(木曜日午前中) *送迎なし |

・本人の居場所や安心の場の提供

| | |
|-----|-----------------------|
| 名称 | あわしまサロン 4 |
| 場所 | 与謝野町宇石川 下地公民館 |
| 申込先 | 不要 (電話：44-2030 深田、大江) |
| 開催日 | 週1回(火曜日午前中) *送迎なし |

活動内容
 ・本人の居場所や安心の場の提供
 ・認知機能向上リハビリ(主に、折り紙、パッチワーク、編み物など作品づくり)
 ・相談対応
 ・早期診断へのアプローチ、地域連携



| | |
|----------|---|
| 名称 | 2 |
| 施設長 | |
| 運営あり(無料) | |



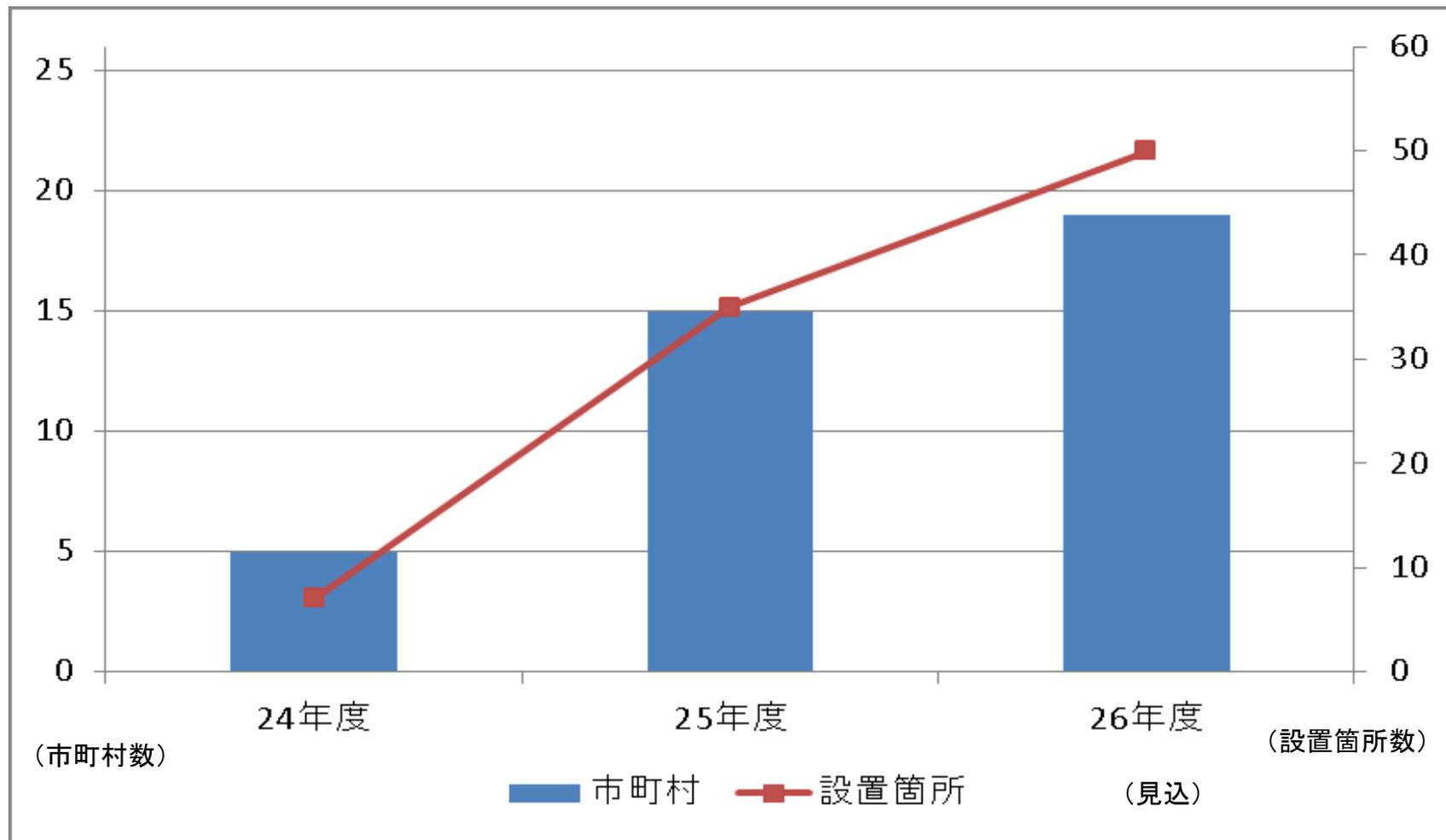
| | |
|-----|-------------------------|
| 名称 | いしかわサロン 5 |
| 場所 | 与謝野町宇石川 6カ所の各地区公民館 |
| 申込先 | 不要 (電話：44-2030 深田、大江) |
| 開催日 | 月1回(10時~14時) 昼食あり *送迎なし |

活動内容
 ・認知機能向上リハビリ(主に、手芸や作品づくりなど)
 ・相談対応
 ・早期診断へのアプローチ、地域連携
 ・「若い支度を考える会」を実施し地域への啓発活動も実施

初期認知症対応型カフェ ～類型～

| 番号 | 名称 | モデル | 場所 | 内容 |
|----|----------------|-------------------------|----------------------------|--|
| ① | 医療機関中心型 カフェ | 医療機関 モデル | 精神科の医療機関 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関内又は地域の古民家等を活用して、当該医療機関通院中等の初期認知症又は若年性認知症の本人及び通院に同行してきた介護者が対象。 ・当該医療機関の医師等の専門職が、本人支援・介護者支援を実施。 |
| | | 地域展開 モデル | 地域の古民家や交流スペース(公民館等) | |
| ② | 介護施設活用型 カフェ | 既存 スペース 活用 モデル | 通所事業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス(認知症対応型通所介護、グループホーム等)の休業日時・空スペース、又は地域内の交流スペース等を活用。 ・地域の初期認知症又は若年性認知症の本人及び介護者に広く参加を呼びかけ参加を募る。 ・当該介護事業所の職員に加えて、医師等の専門職を派遣し、本人支援・介護者支援を実施。 |
| | | | その他の介護事業所(小規模多機能、グループホーム等) | |
| | | 地域展開 モデル | 地域の古民家や交流スペース(公民館等) | |
| ③ | サロン活用型カフェ | | 既存又は新規のサロン | <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業(1次・2次予防)におけるサロンで認知症予防教室、認知症スクリーニング、本人、介護者交流を実施。 |
| ④ | 出前型カフェ | | 依頼のあった場所 (自治会館等) | <ul style="list-style-type: none"> ・依頼のあった場所に、専門職等が出向き、認知症予防のためのプログラム等を実施。 |

3年間の推移(市町村設置分)



行政職員の施策化に
向けた企画力向上と
ネットワーク化

2 京都府における認知症施策

| 分野 | 市町村事業【財源】 | 京都府事業 |
|-------|--|--|
| 普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座【地域】 ○キャラバンメイトの育成【地域】 | <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジロードつなげ隊(H26～) ・府民講座(H25～・計5回) ・きょうと認知症あんしんナビ(H25～) ・京都高齢者あんしんサポート企業(H23～・1,211社) |
| 地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症地域支援推進員の設置【地域】 ○徘徊・見守りネットワーク構築【地域・交付金】 ○多職種協働ネットワーク構築【地域・交付金】 ○認知症ケアパス作成普及【交付金】 | <ul style="list-style-type: none"> ○市町村認知症地域連携担当者研修(H23～) ○地域包括ケア推進ネット(H26～・全保健所) |
| 相談 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターによる総合相談【地域】 ○権利擁護事業(成年後見・消費者被害防止)【地域】 ○市民後見推進事業【国庫補助金】 ○家族介護支援【地域】 | <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府コールセンター(H25～・767件) ・若年性認知症相談(H25～・全保健所) ・若年性認知症ガイドブック・研修(H25～・487名) ○巡回相談会・交流会(H21～) ○あんしんサポート相談窓口(H25～・30箇所) |
| 予防 | <ul style="list-style-type: none"> ○一次予防事業【地域・交付金】 ○二次予防事業【地域】 ○介護予防ケアマネジメント【地域】 ○人材育成等【交付金】 | |
| 医療 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チーム設置【地域・交付金】 ○認知症ケア多職種協働研修【交付金】 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症疾患医療センター設置(H23～・全医療圏域) ○認知症サポート医養成研修(H18～・47名) ○かかりつけ医対応力向上研修(H18～・1,028名) ○病院勤務者向け対応力向上研修(H25～・937人) |
| 介護 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症カフェ【地域・交付金】 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症対応型サービス事業管理者等養成研修 |

○認知症総合センター整備構想(H26～)

認知症地域支援推進員の役割



市町村担当職員が担うべき役割



平成24年度から

京都版地域普及セミナーの開催

リーダー（認知症地域支援推進員）養成
市町村のネットワーク化

京都版地域普及セミナー：認知症地域支援体制構築のために

平成25年度市町村認知症地域連携担当者研修会

<目的>

認知症施策の推進には、地域ごとの特性に応じて、各地域で認知症の人への支援体制が構築されることが重要。そのために、住民にとって最も身近な基礎自治体である市町村が取り組むべき課題であることから、各市町村の認知症施策に係るリーダー養成と、市町村間のネットワーク構築を図る。

<対象者>

- ・ 市町村及び保健所の認知症施策担当者
(事務職及び認知症地域連携に取り組む保健師等)
- ・ 市町村が配置する認知症地域支援推進員

<平成25年度のテーマ>

認知症の人を初期からターミナルまで支える仕組みづくりとそのための施策の企画・推進方策の検討(ケアパスの具体化に向けた検討)

平成25年度市町村認知症地域連携担当者研修会

第1回(7月31日)～よりよい認知症支援のため、わが町の現状を知ろう！～
認知症施策推進の目的・展開の共有、自地域の課題の把握

各市町村における現状の把握、課題解決に向けた今後の施策の方向性の検討



地元での共有・具体化

第2回(9月4日)～認知症の方が、わが町で暮らしていくための道筋を考えよう！～
自地域の施策や資源を、認知症のステージごとに整理・把握
不足しているステージを補う施策案の検討

・自地域の現状の整理

・施策案の企画(具体化)



地元での共有・具体化

第3回(11月14日)～わが町のケアパスを提案しよう！～
今後の施策展開の発表、市町村間の意見交換

施策案の発表

市町村認知症地域連携担当者研修会 3

研修会を開催するにあたり心がけたこと

- 全3回シリーズを通して、同じ方の出席を依頼
- 事務職と専門職のセット参加＋保健所
- グループ編成は地域資源の似た近隣の市町村と
- 研修内容を地域で共有できるような仕掛け

※ 図のように、市町村がわが町の様々な事業や社会サービスを繋ぎ合わせ、認知症の方へ集約させることを意識してもらえるような研修会にしたかった！（担当者の思い）



今年度のテーマ

圏域および市町村における「地域見守り連携ネットワーク」(SOSネットワーク) の構築

●平成26年8月5日～(3回)
平成26年度市町村認知症地域連携担当者研修



連動

●平成26年7月30日～(3回)
認知症による行方不明者の早期発見を目的とした
関係機関ワーキング

京都府



府警本部



26市町村
(京都市含む)

多様な相談窓口 の設置

認知症地域相談窓口モデル事業

【目的】

認知症を発症された方やその家族等に対して、認知症の知識や介護技術の面だけでなく、精神面も含めた悩みに関する相談に対応するとともに、必要に応じて医療、介護福祉等の関係機関に繋ぎ、継続的な支援を実施する地域に根ざした認知症相談窓口の多様化を図る。

【実施主体】

京都府(一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会へ委託)

【事業概要】

委託内容:モデル事業所による、認知症地域相談窓口(以下 相談窓口)の立ち上げ支援
(府老協指定の事業所(25年度10ヵ所 26年度20ヵ所 計30ヵ所))

(参考)相談窓口 活動イメージ

- ・相談窓口の開設(週1回以上)
- ・必要に応じた家族交流会の実施
- ・相談員は、事業所職員等

【特記事項】

名称及びマークは統一のものを使用する。
名 称:認知症あんしんサポート相談窓口
マーク:右のマークを掲示



若年性認知症に関する相談(平成25年度)

◆京都府立洛南病院

若年性認知症専門外来

| | |
|-----------|---|
| 開設 | 平成25年5月～ |
| 外来診療(月4回) | 第2火曜日 午前、第2金曜日 午後、第3水曜日午後 第4火曜日午前 |
| 予約受付 | 専門外来は「予約制」 平日 午前9時～午後5時 電話 0774-32-5960 ※電話交換手に「若年性認知症外来」とお伝え下さい |

若年性認知症デイケア

| | |
|-----|-------------------------|
| 開始 | 平成25年4月～ |
| 実施日 | 毎週火曜日 午後1時～3時 |
| 内容 | 運動計プログラム(テニス、卓球等)を中心に運営 |

◆京都府内7保健所

若年性認知症相談事業の実施

認知症かも…

ひとりで悩んでいませんか？

認知症の人の
介護について
誰かに
相談したい…

最近、ちょっと
物忘れが…
認知症かな？

介護が辛い…
話を聞いて
欲しい

利用できる
サービスって
なにがあるの？

京都府

認知症コールセンター

認知症のことで困ったら認知症コールセンターに電話しよう

フリーダイヤル **0120-294-677**

※携帯・PHSの場合は075-811-7960(通話有料)

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～15:00

【土日、祝日、お盆(8月13日～8月16日)、年末年始(12月27日～1月5日)を除く】

相談料
無料

京都高齢者あんしんサポート企業の設置

京都高齢者あんしんサポート企業とは…

高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを実現するため、高齢者への声かけ、買い物支援、情報提供を通じて、高齢者の孤立や不安の解消、認知症の方への対応に取り組む、**高齢者にやさしい企業**のことです。

参加企業
募集中！

26年3月現在 1552事業所 サポーター5954名

【サポーター用ピンバッジ】

【窓口プレート】

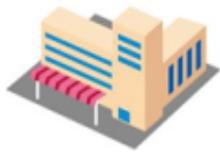
【店頭用ステッカー】



サポーターグッズ

登録企業には「店頭用ステッカー」「窓口プレート」「サポーター用ピンバッジ」、そして活動に役立つ「ハンドブック」をお渡しします。

京都高齢者あんしんサポート企業の役割



地域の
発信拠点

情報の掲示

各事業所にて地域のお知らせや相談場所等の「案内」の
掲示にご協力いただきます。

〔例〕民生児童委員が開催するサロンの案内、独居老人の
昼食会、福祉ニュース等。



サポーター
の配置

見守りや
声かけ

買い物等でお越しになったお客様への気遣いを
伝える声かけや買い物支援等にご協力いただきます。

〔例〕「今日は暑いですね」「今日はお一人ですか」
「お手伝いできることはありますか」

認知症かも…ひとりで悩んでいませんか?

きょうと認知症 あんしんナビ

認知症の人も家族の方
支援する方も安心

認知症に関して適切な情報を一元的に発信し、一人でも多くの方のあんしんにつながることを目的に、総合ポータルサイト「京都認知症あんしんナビ」をオープンしました。
また、若年性認知症についても詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

認知症で困った時に役立つ情報が満載!

まずはココ!

「認知症かな?」と思った人へ

- チェックリスト
- コールセンター
- 専門機関

若年性認知症

- 支援のポイント
- 利用のできる制度

支援する方へ

- 認知症ケアバス
- オレンジガイドブック



医療・介護の窓口

- 医療と介護の重要性
- 介護サービス

認知症の理解

- 認知症の主な原因疾患
- 症状と対応方法

まずは
ホームページに
アクセス



きょうと認知症あんしんナビ
ホームページアドレス

www.kyoto-ninchisho.org

きょうと認知症ナビ

※京都地域包括ケア推進機構ホームページに開設



京都地域包括ケア推進機構

〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京東町尾町6番地 京都府医師会館703

TEL: 075-822-3562 (代表)

E-mail: info@kyoto-houkatucare.org

FAX: 075-822-3574

Web: www.kyoto-houkatucare.org

支援者のための

若年性認知症 京都オレンジガイドブック



KYOTO ORANGE GUIDE BOOK

認知症総合対策推進プロジェクト
京都地域包括ケア推進機構

平成26(2014)年3月

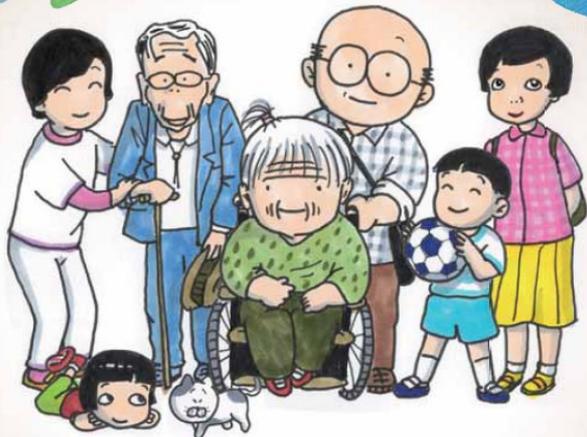
※京都地域包括ケア推進機構ホームページよりダウンロードできます

府民への啓発

平成25年度地域包括ケア府民講座 (講演内容を25、26年度府民だよりで掲載中)

平成25年度 地域包括ケア府民講座

この地域で、
あつと暮らしたい。



©河野雄一

地域包括ケア府民講座のご案内 予約不要 参加費無料

10/6

認知症の初期集中支援 地域と専門チームの取り組み

●会場 / 京都大学宇治キャンパス宇治おうほくプラザ きはだホール(宇治市)
●講師 / 教養温泉病院 理事長 玉井 顕氏



10/12

まちで、みんな、認知症をつつむ 共感と協働のまちづくり

●会場 / 京都府歯科医師会館2階講堂 (JR二条駅前北)
●講師 / 大牟田市認知症ライフサポート研究会代表 大谷 るみ子氏



11/13

最期まで、その人らしい 生活を支える在宅医療

●会場 / 京都府医師会館3階 310 (JR二条駅前南)
●講師 / 仙台往診クリニック 院長 川島 孝一郎氏



12/19

ペコロスの母に会いに行く

●会場 / 龍谷大学アバンティ管都ホール (JR京都駅八条口南)
●講師 / 「ペコロスの母に会いに行く」著者 漫画家 岡野 雄一氏



「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるために、高齢者のニーズに応じて適切な医療・介護・福祉サービスが一体的に受けられる地域づくり」のこです

地域包括ケアとは

●主催 京都府 ●お問い合わせ 京都府 京都地域包括ケア推進機構 京都包括ケア 検索

〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館703 TEL:075-803-1037 FAX:075-822-3574
※手話通訳の必要な方、車椅子ご利用等の特別な配慮を必要とされる方は、その旨を事前にお知らせください。

地域包括ケア府民講座のご案内 予約不要 参加費無料

10/6 認知症の初期集中支援 — 地域と専門チームの取り組み —

●会場 京都大学宇治キャンパス宇治おうほくプラザ きはだホール(宇治市) ●講師 教養温泉病院 理事長 玉井 顕氏
●時間 13時30分～15時30分 ●定員 300名(先着順)
1987年金沢大学医学部卒業。同、神経科精神科講師を経て1990年理事長・院長として教養温泉病院を開設。認知症の早期発見・早期治療をめざし、2005年町ぐるみで取り組むプロジェクト若狭「認知症ケアからはじめるまちづくり会議」を立ち上げ、地域で支える体制づくりで成果を得ている。



◆京阪宇治線「黄旗」駅下車 徒歩6分
◆JR奈良線「黄旗」駅下車 徒歩5分

10/12 まちで、みんな、認知症をつつむ — 共感と協働のまちづくり —

●会場 京都府歯科医師会館2階講堂 (JR二条駅前北) ●講師 大牟田市認知症ライフサポート研究会 代表 大谷 るみ子氏
●時間 13時30分～15時30分 ●定員 200名(先着順)
1990年医療法人東邦会東原整形外科院長を経て、1996年デンマーク日欧文化交流学院にて福祉を学んだことより、デンマークの福祉と高齢に出会う。2001年社会福祉法人東邦会グループホーム「ふあみりえ」ホーム長となる。介護はファンタジー、人が人として暮らし続ける「ノーマリゼーション」をめざし認知症ケアに尽力している。



◆京都府歯科医師会館
◆JR「二条」駅より南へすぐ
◆地下鉄東西線「二条」駅よりJR連絡通路出口より
◆JR「二条」駅東側出口經由南へすぐ

11/13 最期まで、その人らしい 生活を支える在宅医療

●会場 京都府医師会館3階 310 (JR二条駅前南) ●講師 仙台往診クリニック 院長 川島 孝一郎氏
●時間 14時～16時 ●定員 250名(先着順)
1979年北里大学医学部卒業。東北大学医学部大学院卒業医学博士取得。山形県立中央病院、酒田市立病院、東北大病院などを経て、在宅での暮らしを支える医療を目指し、1996年仙台往診クリニックを創業。往診専門医として年間100人の患者を取寄り、厚労省の「終末期医療のあり方に関する懇談会」などの委員も務める。

◆京都府医師会館
◆JR「二条」駅より北へすぐ
◆地下鉄東西線「二条」駅よりJR連絡通路出口より
◆JR「二条」駅東側出口經由北へすぐ

12/19 ペコロスの母に会いに行く

●会場 龍谷大学アバンティ管都ホール (JR京都駅八条口南) ●講師 「ペコロスの母に会いに行く」著者 漫画家 岡野 雄一氏
●時間 14時～15時30分 ●定員 350名(先着順)
漫画家・シンガーソングライター。1950年長崎の僻地の町に生まれる。20歳で上京し、小さな出版社で漫画雑誌の編集に携わる。40歳で長崎にUターン。父の死後、ゆっくりとボケていった母みつさんと7年間同居する。現在には週に2回ほど、母が暮らすグループホームに通う。2012年7月、母との日々を描いた「ペコロスの母に会いに行く」を西日本新聞社から刊行。全国で話題を呼び、1年間で16万部を超えるベストセラーに。2月にNHK-BSでドラマ化され、実写版の映画「ペコロスの母に会いに行く」も11月16日から全国で公開される。



◆地下鉄京都駅より徒歩1分
◆近畿京都駅より徒歩3分
◆JR京都駅八条口よりすぐ

イラスト同時上映 ペコロスの母に会いに行く 11月公開の映画「ペコロスの母に会いに行く」の作者岡野雄一氏のイラスト展を開催します。



©河野雄一

これまでの地域包括ケア府民講座

講演内容についてはHPをご覧ください ▶ 京都包括ケア 府民講座 検索

9/14 認知症を知る 早期発見のサインと対応

●土曜日 ●会場 京都府立洛南病院(認知症疾患医療センター) 副院長 森 俊夫氏

9/15 なるな寝たきり つくるな寝たきり 介護予防とリハビリテーション

●日曜日 ●会場 茨城県立医療大学 名誉教授 茨城県立健康づくり推進室 代表 大田 仁史氏

9/29 安らかな看取り 平穏死について考える

●日曜日 ●会場 特別介護老人ホーム 芦花ホーム 常勤医 石飛 幸三氏

●主催 ●お問い合わせ 京都府 京都地域包括ケア推進機構 京都包括ケア 検索
〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町8番地 京都府医師会館703 TEL:075-803-1037 FAX:075-822-3574



京都府広報誌「あふる」の京都府 多々多 2858007

地域展開の強化

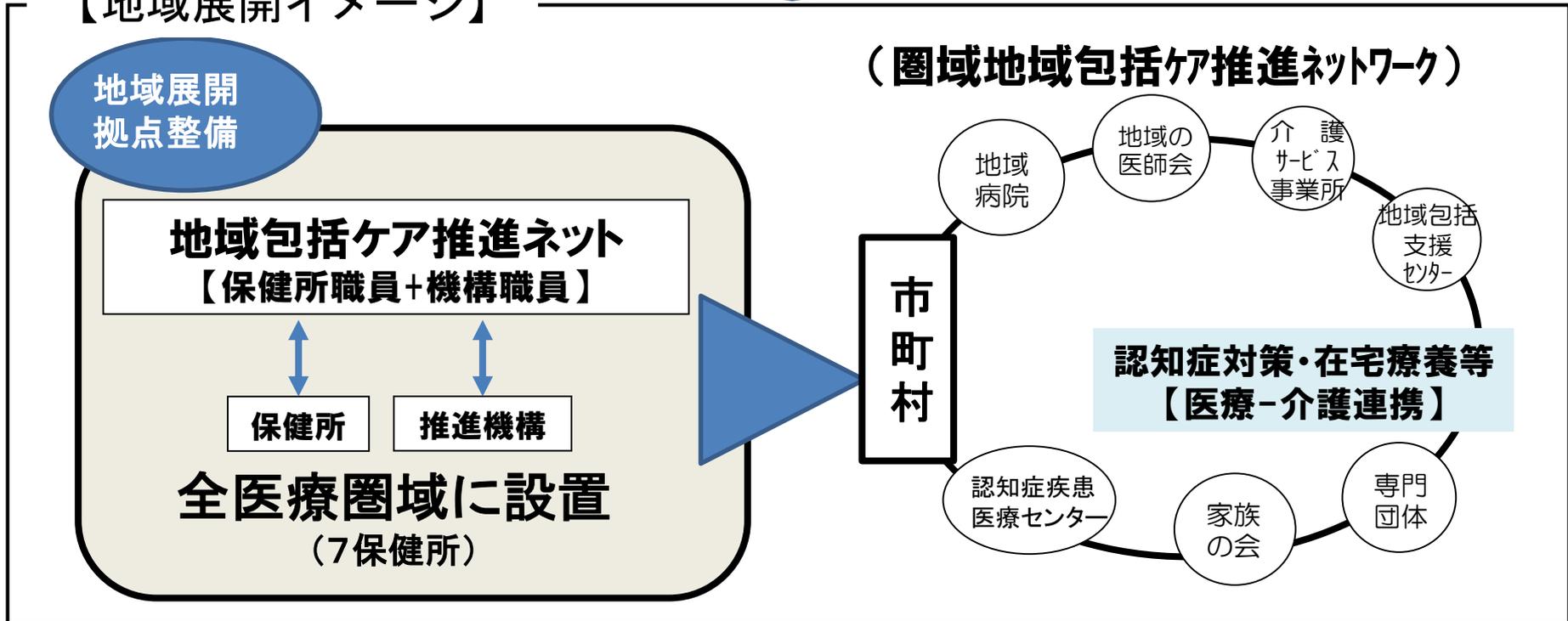
地域包括ケアの地域展開強化

きょうと地域包括ケア推進ネットの設置

全圏域で、保健所と機構が連携し、市町村の地域包括ケア推進を徹底支援

「保健所」「推進機構」の機能拡充による地域展開の推進

【地域展開イメージ】



推進拠点による
地域支援強化

全圏域で「市町村が行う地域包括ケアシステム構築」をきめ細かく支援

- ・認知症地域連携ネットワークの構築
- ・認知症オレンジロードつなげ隊のコーディネート
- ・市町村合同事業等の立ちあげ支援
- EX.認知症初期集中チーム等

出会いのポイントをどこまで前倒しにできるのか（入り口問題）



まずは正しい理解から



府と市町村が協働で動く

認知症の人とその家族が望む

10のアイメッセージ

京都式オレンジプラン

かなえるオレンジロード

オレンジロードつなげ隊

1 私は、周囲のすべての人が、認知症について正しく理解してくれているので、人権や個性に十分な配慮がなされ、できることは見守られ、できないことは支えられて、活動的にすごしている。

4 私は、地域の一員として社会参加し、能力の範囲で社会に貢献し、生きがいをもってすごしている。

5 私は、趣味やレクリエーションなどしたいことをかなえられ、人生を楽しんですごしている。

6 私は、私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がされているので、気兼ねせずにすごしている。

7 私は、自らの思いを言葉でうまく言い表せない場合があることを理解され、人生の終末に至るまで意思や好みを尊重されてすごしている。

8 私は、京都のどの地域に住んでいても、適切な情報が得られ、身近になんでも相談できる人がいて、安心して居場所をもってすごしている。

9 私は、若年性の認知症でも私に合ったサービスを受けたいので、意欲をもち、活動的にすごしている。

10 私は、私や家族の願いである認知症を治す様々な研究がされているので、期待をもってすごしている。

3 私は、体調を崩した時にはすぐに治療を受けることができ、具合の悪い時も



**高齢者をはじめ府民の皆様が、
住み慣れた地域で安心して暮らせるため、
オール京都体制で
あんしん社会の実現を目指します。**

